

三條別院のご案内

三條別院に想う

最近、信楽峻磨師や宗正元師のお話を聞かせて頂く機会に恵まれました。私には、先生方の講録や論文は難しく歯が立たないのですが、直接お話を聞きしていると、文字面には表われない微妙なニュアンスのようなものを感じ取る事ができます。「警戒に接する」ことのありがたさでしょうか。

越後の地からは真宗の学匠が数多く出ております(※)。そのうちの一人、新井正念寺興隆の崑崙舎には、全国から多くの門人が学んでいます。私の郷里の北伊勢からも、一人の若者が学んでいることが、門人名簿から知られます。遠隔の地からの就学ですので、その心細さを思いやると切ないものがあります。真宗の教えは、聖教や講録類を読むだけで深めることは難しく、善き師、善き友との出会いの中でこそ確かめられていったのだらうとも思います。

三條真宗学院で学ぶ機会を頂いたことは、晩学の私にとって何よりありがたいことでした。先生方のご講義は深遠なものが、即座に理解できたとはいえませんが、判って欲しい、

という先生方の気迫と、学びたい、という学院生の思いとが交わって、学びの場としてはこのうえないものがありました。ところが、学院が終わってしまいうと、学ぶ機会が急に少なくなってしまう、焦燥感を感じたりしています。

教区内の各寺院では、数多くの法座が開かれております。しかし、聴聞されるのは、そのお寺のご門徒と近隣の方々が中心、ということが多いようです。お寺は聞法の道場です。貴重な聞法の機会をより多くの人々が享受できるように、差し支えない範囲で「教区報」やHPで紹介していただくと、先達の「警戒に接」し、信心を深めることにもつながるのではないのでしょうか。

※越後の真宗の学匠については、村山教二・井上慶隆両氏に研究がある。

(真宗学院第二期卒業生 中島 義紘氏)

○次回の「三條別院に想う」は、

村山 まみ氏(真宗学院第一期卒業生)より

「執筆いただきます」

■十組推進員連絡協議会

別院奉仕研修が行われました

去る六月二十九日・三十日、十組推進員連絡協議会別院奉仕研修が行なわれました。

別院研修後は、親鸞聖人七不思議や御旧跡をめぐる研修旅行が恒例となつていそうです。

諸殿拜観の後、平出和明氏(第十五組善慶寺)を講師に、七不思議についてお話をいただきました。

「衣食住」と言われますが、歴史の中心は常に「食」にあつたと平出氏は説明され、歴史の表舞台には決して現れないが、歴史を常に支えてきたのは農民であるとの見解はある種の驚きでした。親鸞聖人の本願念仏の教えは、まさにその農民たちあるいは獵師など、罪人たる生産者たちに直接響いたのであり、七不思議も、農民における親鸞聖人敬慕の念が生み出した伝説ではないかと推測されました。

別院職員によるお内仏のお給仕の時間には、日常生活に根ざした疑問・意見が多くだされ、仏を礼拝することの意義を、職員と共に再度考えました。

本堂の清掃奉仕の後、夕事勤行を行ない、夕食後の座談では、一人一人が仏教に対する思いを語り、まだまだ話し足りない……と、寝室から賑やかな声が聞こえてきました。

別院を会場とし、共にお勤めをし、仏法を聞き、語ることでできる奉仕研修です。皆さまの御来院をお待ちしております。



【夕事勤行の様子】

■御命日（二十八日）の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」と題し別院本堂にて、日中法要と法話、その後座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけますので、「参詣いただきませう」お待ち申し上げております。

また、各寺院の間法会・同朋会等にもご利用いただけます。ただければ幸いです。

【八月二十八日（土）】

午前十時 お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下
念 讚 洵五
和 讚 回口 次第第六首
回 向 願以此功德

◎今月の法話講師

濱松 智弘氏（佐渡組 勝廣寺）

◇今後の法話講師一覧

九月 関崎 智弥氏（第十八組 重蓮寺）
十月 大久保 州氏（佐渡組 廣永寺）
十一月 池田 陽氏（第十八組 長周寺）
十二月 鳴澤 宏誓氏（第十九組 長福寺）

■朝の人生講座・夏の御文拝読の「案内

本年も朝の人生講座・夏の御文拝読を左記のとおり開催いたします。

◇日 時 八月二十日（金）～二十三日（月）

午前六時より晨朝 夏の御文
午前六時三十分より人生講座

◇場 所 三条別院本堂

◇講師

二十日 石塚 亜里氏（長泉寺 三条市上保内）
「いきいきお念仏」
二十一日 石塚 祐堂氏（長泉寺 三条市上保内）
「横ざまに超える」
二十二日 安富 信哉氏（大谷大学教授）
「救われざる者の救い」
二十三日 堀川 秀道氏（淨尊寺 新潟市西蒲区石瀬）
「安らぎのかなめ」

■別院声明教室の「案内

「声明を学べる場を」というご要望が募り、また宗祖親鸞聖人の七百五十回御遠忌を目前に控え、同朋唱和を願いとされていることから、以前開催しておりました声明教室を約二年ぶりに左記のとおり再開することになりました。

本年のお取り越し報恩講は、三条教区お待ち受け法要と兼修で執り行われ、その初・中速夜法要

を同朋唱和でお勤めしたいと願っておりますのでこの機会に是非一緒に学び、一緒に報恩講を勤めましょう。

◇開催日 九月 一日・十五日・二十九日
十月 六日・二十日の水曜日

全五回

◇時 間 午後六時より午後八時まで

◇講習内容 正信偈 真四句目下
念仏讚 洵五

和讚 五十六億七千萬 次第第六首
回 向 願以此功德

◇持ち物 『同朋唱和勤行集』または『大谷派聲明集 上』、念珠、筆記具

※右記の書籍をお持ちでない方は、三条教務所にてお買い求め出来ます。また、講習日に受付にて販売いたします。

◇参加費 五〇〇円／回

◇申込方法 お電話か同封しておりますチラシの申込用紙にご記入し、郵送またはファックスでお申し込みください。

◇切 八月二十五日（水）必着



■別院巡回のご案内

かつて三条別院の御影をお持ちして、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。

ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院御影巡回がより多くの方々のお念仏をいただける場となるご縁となりますことをご願っております。

有縁の皆様方の地域に巡回を開いてきませんか。
※曜日・時間等は昼夜問わず、皆様のお仕事の後などご相談させていただきます。
お問い合わせは、三条別院まで

■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階事務所にごさいます宿泊者帳に記帳していただき、シートクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただけますようお願い致します。

■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきました三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出会うことを通じて、ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となることを願い、奉仕研修会を開いてみませんか。

○日程及び内容について、「要望等」ございましたら「相談承ります」。

【奉仕研修日程例A】

午後 一時 入館・開会式
三十分 書殿拝観
二時 講義
三時
三十分 清掃奉仕
四時 閉会式

【奉仕研修日程例B】

午後一時 入館・開会式	午前七時 晨朝参拝
三十分 書殿拝観	八時 朝食
三時 講義	九時 清掃奉仕
五時 夕事勤行	十時 法話
三十分 夕食	十一時 閉会式
七時 座談会	
九時 入浴・就寝	

○奉仕研修会をお申し込みいただく方(団体)へ、冥加金としまして左記のとおり頂きます。

◎冥加金

- ・ 日帰り 一、五〇〇円
- ・ 一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

- ・ 朝食代 五〇〇円
- ・ 昼食代 一、〇〇〇円程度
- ・ 夕食代 一、三〇〇円程度

